

# 環境報告書 2019



わたしは清掃工場のえんとつ。  
「えんとつさん」と呼ばれています。  
これから、環境報告書をご案内いた  
します。

**小平・村山・大和衛生組合**



# 目 次

私たちの取組.....	1
第1章 事業概要.....	2
1 衛生組合のあらまし.....	2
2 私たちの組織.....	5
第2章 私たちの環境への取組.....	6
1 環境方針.....	6
2 環境負荷.....	8
3 環境対策.....	12
4 資源物の回収.....	16
5 焼却熱の有効利用（こもれびの足湯）.....	17
6 焼却灰の有効利用.....	18
7 環境負荷を減らす取組.....	18
8 環境活動.....	18
9 ダイオキシン類についての取組.....	19
第3章 コミュニケーション.....	20
1 環境情報の公開.....	20
2 寄せられたご意見などについて.....	21
3 施設の見学.....	22
4 社会的活動.....	22
衛生組合のあゆみ.....	23

## 私たちの取組

小平・村山・大和衛生組合は、昭和40年2月に小平市、村山町（現・武蔵村山市）、大和町（現・東大和市）の1市2町により、設立された一部事務組合です。これまで半世紀にわたり操業を続けてこられましたのは、地域の皆様方のご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。

当衛生組合では、組織市3市の約35万人の可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの焼却・減容などの中間処理、また処理した廃棄物の最終処分場への運搬を行っています。これらの事業により、ごみを衛生的に、かつ安全で安定的に処理するとともに、事業活動から生じる環境負荷の継続的な低減に努め、市民の皆様の快適で安心な生活環境を維持してまいります。

ごみ問題に関しましては、3R（リデュース、リユース、リサイクル）を基本に、まずごみの発生抑制を目指し、行政や企業、そして市民の皆様、それぞれの立場で役割を果たしていくことが大切だと考えています。

今後も、当衛生組合では、組織市の市民及び組織市とともに廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化、埋立量の減量化を推進し、良好な生活環境の維持と、限りある最終処分場の延命化への役割を果たしてまいります。また、地球環境の保全や周辺の地域・環境との調和など、循環型社会に向けた環境調和の推進に努力してまいります。



小平・村山・大和衛生組合

事務局長 **村上 哲弥**

### ■ 報告する期間

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

### ■ 準拠したガイドライン

「一般廃棄物処理施設向け環境報告書ガイドライン 2005年度版」東京都環境局

# 第1章 事業概要

## 1 衛生組合のあらまし

- (1) 設立年月日 昭和40年2月1日
- (2) 組織市（衛生組合の構成市） 小平市・東大和市・武蔵村山市
- (3) 所在地 東京都小平市中島町2番1号
- (4) 敷地面積 約16,700㎡  
[他に、(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設建設予定地 約3,700㎡]
- (5) ごみ処理施設の概要
  - 3号ごみ焼却施設 ストーカ式連続燃焼式焼却炉  
処理能力150t/24h×1基  
昭和50年3月しゅん工（平成2年11月改造）
  - 4・5号ごみ焼却施設 ストーカ式連続燃焼式焼却炉  
処理能力105t/24h×2基  
昭和61年11月しゅん工
  - 粗大ごみ処理施設 処理能力75t/5h  
昭和50年10月しゅん工（平成10年3月選別設備改造）  
[(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設を建設中、令和2年3月しゅん工予定]
  - その他の施設
    - 不燃物積替場 面積690㎡  
昭和43年12月しゅん工
    - 廃水処理施設 処理能力51m<sup>3</sup>/24h  
昭和50年3月しゅん工
  - 資源物中間処理施設（愛称：エコプラザ スリーハーモニー）  
平成31年4月しゅん工  
所在地 東京都東大和市桜が丘2丁目122番地の2  
敷地面積 約4,300㎡  
処理能力 容器包装プラスチック 17t/5h  
ペットボトル 6t/5h
- (6) 余熱利用施設
  - 足湯施設（こもれびの足湯） 面積約1,140㎡  
平成19年3月しゅん工

(7) ごみ処理の概要

① ごみ焼却炉



可燃ごみの流れ プラットホーム⇒ごみピット・ごみクレーン⇒  
焼却炉⇒灰ピット・灰クレーン



プラットホーム



ごみピット・ごみクレーン



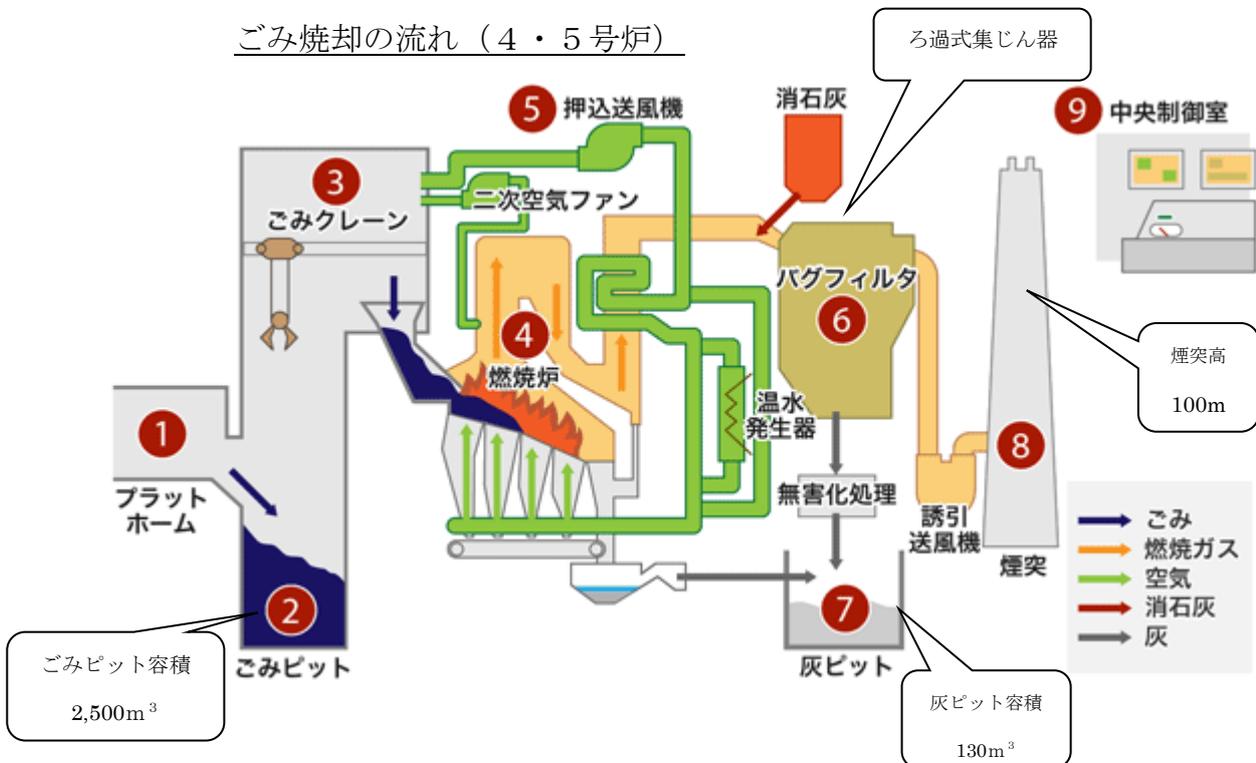
焼却炉の内部



灰ピット・灰クレーン

プラットホーム……ごみ収集車がごみピットへごみを投入する場所です。  
 ごみピット……ごみを焼却するまで一時貯留する場所です。  
 ごみクレーン……ごみピットのごみを焼却炉に運ぶクレーンです。  
 焼却炉……ごみを900℃の高温で焼却します。  
 灰ピット……焼却灰を一時貯留する場所です。  
 灰クレーン……灰ピットの灰をトラックに積み込むためのクレーンです。

ごみ焼却の流れ (4・5号炉)



ろ過式集じん器 (バグフィルタ)

⇒ 排ガス中のばいじんやダイオキシン類などを除去する設備です。

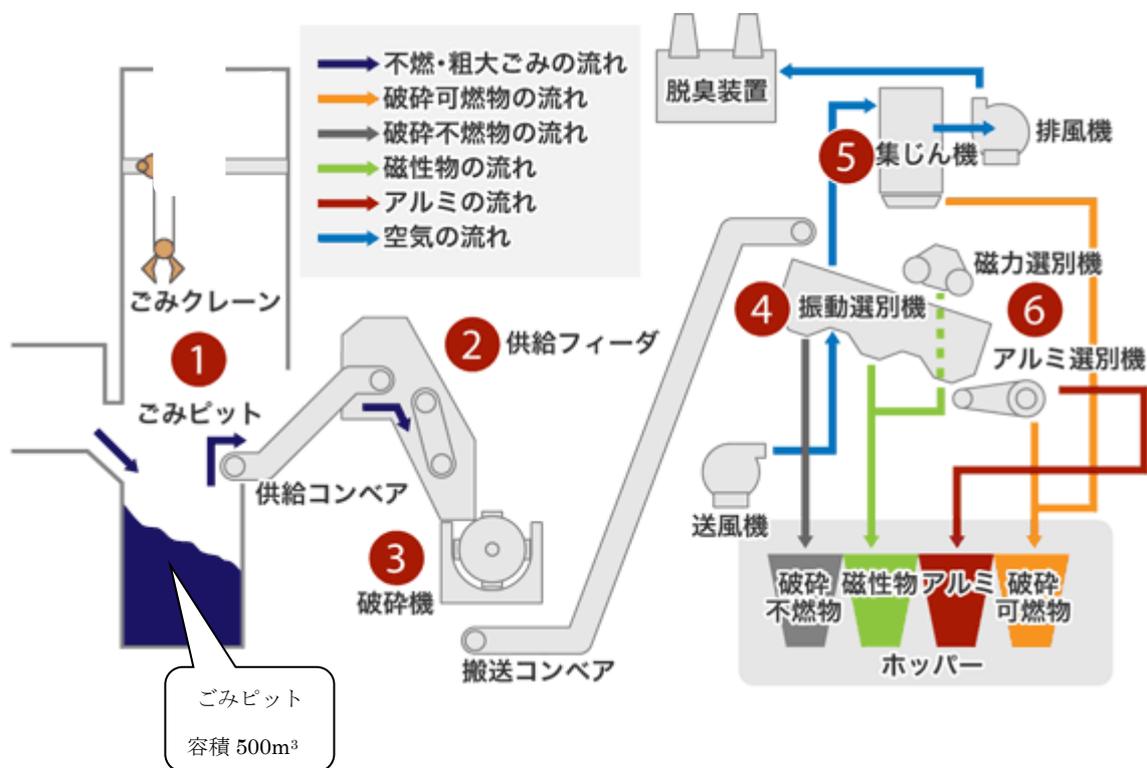
② 粗大ごみ処理施設

破砕機…横型衝撃せん断破砕

粗大・不燃ごみの流れ  
 プラットホーム⇒ごみピット・ごみクレーン⇒供給コンベア⇒  
 破砕機⇒選別装置（鉄・アルミ・可燃物・不燃物）

粗大・不燃ごみの処理の流れ

粗大・不燃ごみプラント系統概略図



処理にかかる経費 (平成30年度原価計算より)

可燃ごみ	1トンあたり	19,220円
粗大・不燃ごみ	1トンあたり	31,311円 (注)

(注) 破砕可燃物に係る焼却処理の経費を含む。

## 2 私たちの組織

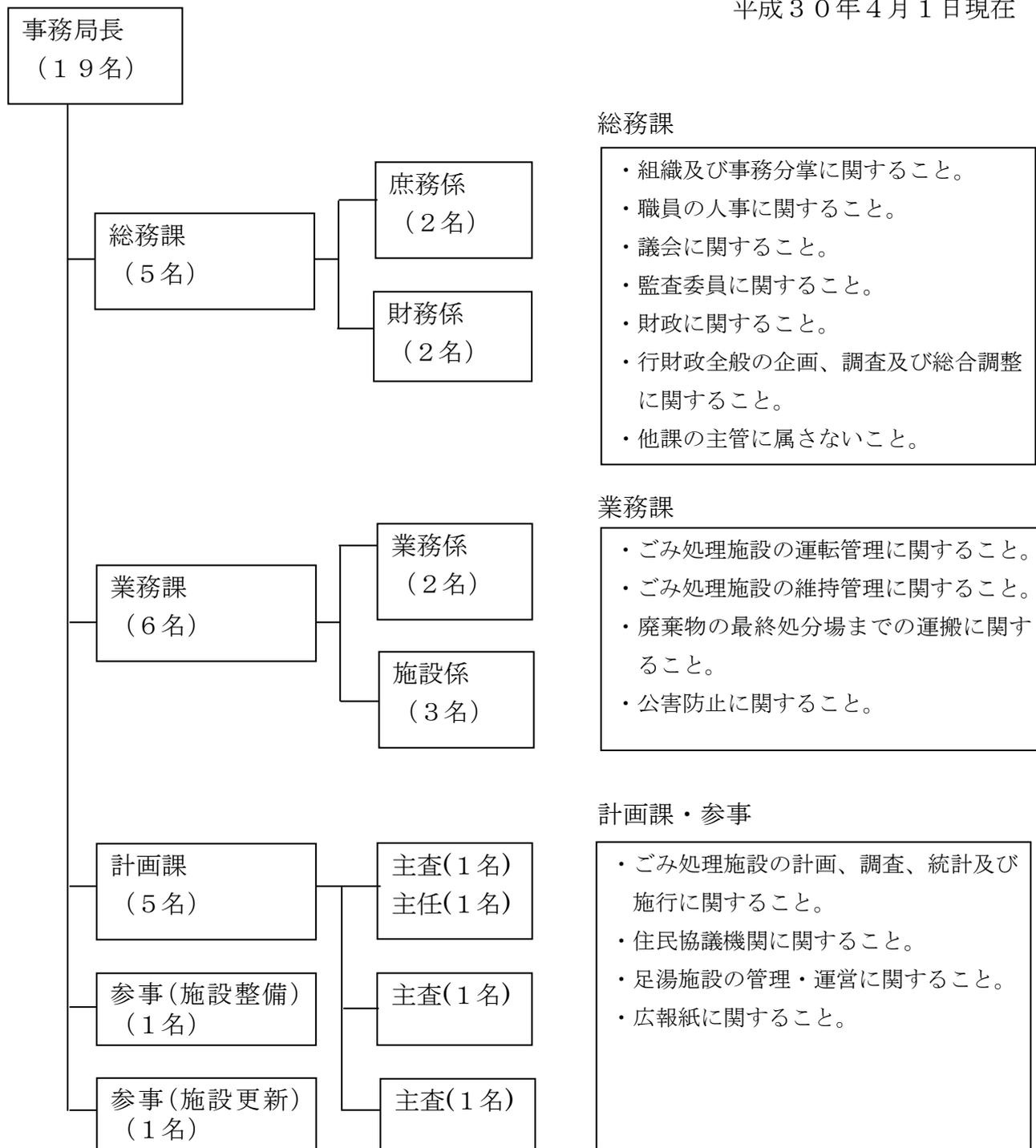
事務局長をはじめ19名の職員により業務を行いました。

ごみ焼却施設・粗大ごみ処理施設のプラント運転・管理及び廃棄物の最終処分場への運搬は民間業者に委託しています。

ごみ焼却施設は、土曜日・日曜日を含めて、24時間の連続運転をしています。

粗大ごみ処理施設は、月曜日から金曜日の昼間に運転しています。

平成30年4月1日現在



## 第2章 私たちの環境への取組

### 1 環境方針

(ごみ処理事業基本計画(平成27年3月)より抜粋)

#### 環境調和の継続的推進

時代の要請に応じた環境対策を推進する。地球環境、広域的な地域環境及び周辺地域環境との調和の視点から、継続的に環境負荷の軽減を図る。

#### 目指すべき将来像～継続的に環境負荷低減を図る事業運営

ここでは、環境を「地球環境」、「広域的な地域環境(3市及び立川市)」、「周辺地域環境」の3つの視点でとらえ、それぞれの環境に対する負荷が継続的に低減されている状態を目指す。

##### ■ 省エネルギー(地球環境の視点)

ごみ処理施設の運転には、多くの電力、燃料等を必要とするため、まず、これらの使用量を低減する省エネルギー対策を進めていく必要がある。この結果、エネルギー消費に伴って発生する二酸化炭素の量も抑制され、地球温暖化への効果が期待できる。

##### ■ ごみの適正処理・リサイクル対策(広域的な地域環境の視点)

広域的な地域におけるごみ処理事業者として、処理段階における再資源化機能を充実させることにより最終処分量を削減していく必要がある。

現在、組合では、粗大ごみからの金属類の回収や小型家電リサイクルによる再資源化を行い、最終処分量の削減を図っているところであり、今後も新しい廃棄物処理技術や廃棄物情勢の動向を見据えながら、さらなる資源化に取り組んでいく。

##### ■ 公害の防止、美観の向上(周辺地域環境の視点)

ダイオキシン類等の有害物質の発生及び排出の抑制を継続させるとともに、施設周辺地域住民の生活に直接影響する振動・騒音や悪臭などの発生をなくしていく必要がある。

また、組合は緑豊かな環境の中に立地しており、特に隣接する玉川上水敷や野火止用水敷は、歴史的遺産と一体となった自然の残る地域として、都条例により歴史環境保全地域に指定されている。このような中で、これまでの組合の取り組みに加えて、地域からの視点を取り入れた周辺地域環境対策が必要となっている。このため、施設周辺地域住民との調整を図りつつ、周辺環境と調和したごみ処理施設の姿を明らかにし、その姿に向けて段階的に整備、改善を進めていく。

## 施策

地球的規模で事業をとらえ、温暖化原因物質の発生を抑制し、資源化等の推進により最終処分量の減量を図る。また、広域的・地域・周辺地域との環境調和を推進する。

### (1) 目標

- ・ 温室効果ガス排出の継続した抑制
- ・ 環境負荷の継続した低減
- ・ 市民・周辺住民からの苦情件数ゼロ

### (2) 施策

#### ○ 循環型社会に向けた環境調和の推進

##### ◆省エネルギー対策の継続実施

現状では、設備台帳と設備動力負荷台帳との一体的な管理により、効率的なエネルギー管理が図られている。

今後も使用電力量等のデータを継続管理し、適正負荷の再検証、設備機器の簡素化及び高効率型への更新等によりエネルギー使用量の適正化を図っていく。

##### ◆管理目標値の見直し

廃棄物の中間処理施設としての適正な処理を維持継続するとともに、施設から発生する環境負荷物質の排出量の削減に向けた取り組みを継続し、組合における再資源化等の取り組みを進め、不燃残さの発生量の抑制及びその質の向上を図る必要がある。

中間処理施設や最終処分場等を取り巻く環境の変化に対応するため、管理目標値の必要な見直しを継続的に行う。

#### ○ 循環型社会に向けた普及啓発の推進

##### ◆周辺地域環境との調和方策の検討

施設周辺地域住民と積極的に情報交換を行い、管理目標値や計測・調査結果等を公開することで、組合事業に対する理解を深めてもらうとともに、敷地内及びその周辺の美化を進め、周辺の自然環境との調和を図ることで信頼されるごみ処理施設を目指す。

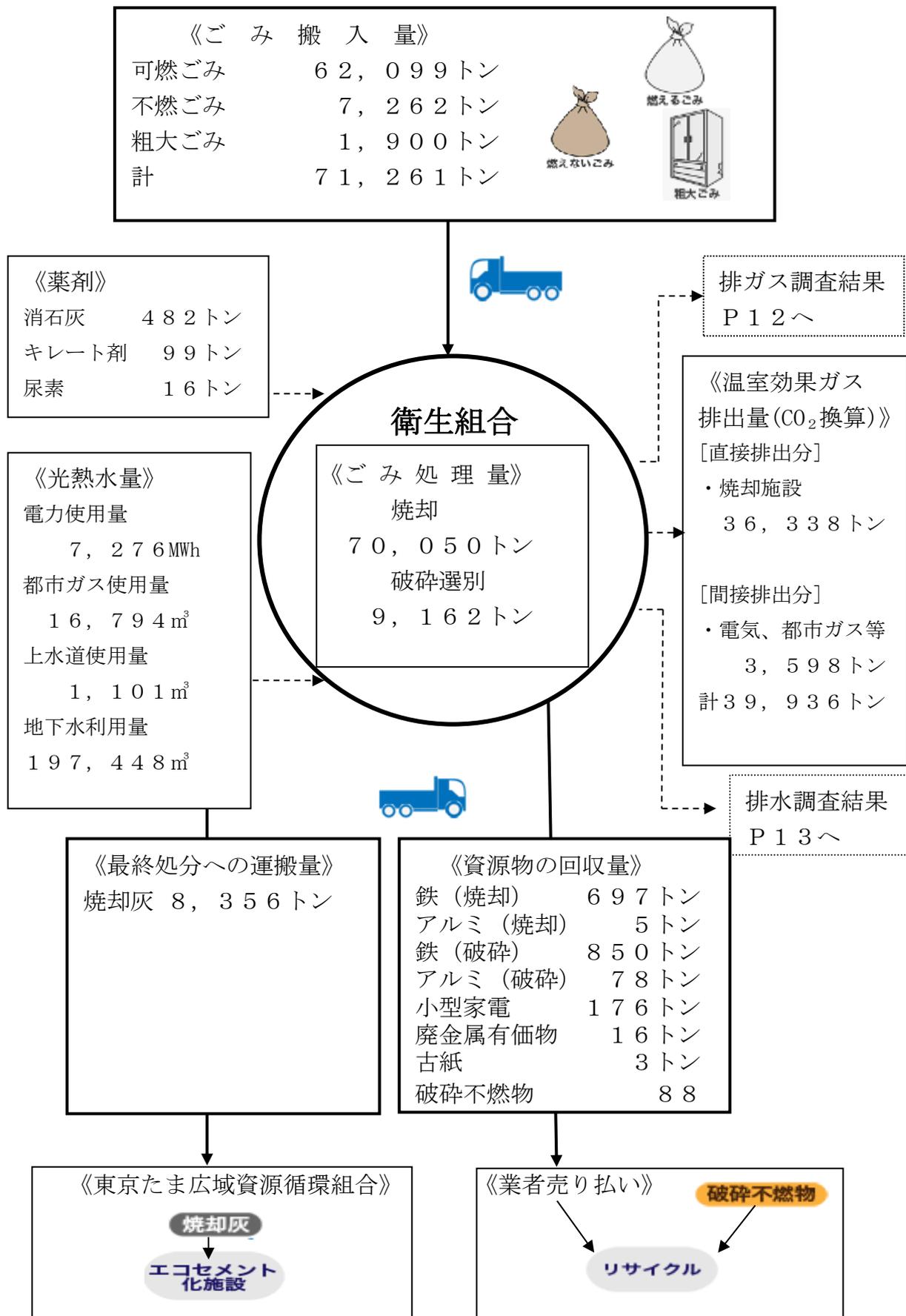
##### ◆普及啓発事業の推進

循環型社会に向けた取り組みとして、市民にごみ処理事業やごみ処理施設に対する理解を深めてもらうには、まず実態を知ってもらうことが重要である。

組合の所有する様々なデータをホームページや広報紙等により積極的に提供するなど、ごみ処理事業に対する更なる理解を深めてもらうための普及啓発の推進が必要である。

## 2 環境負荷

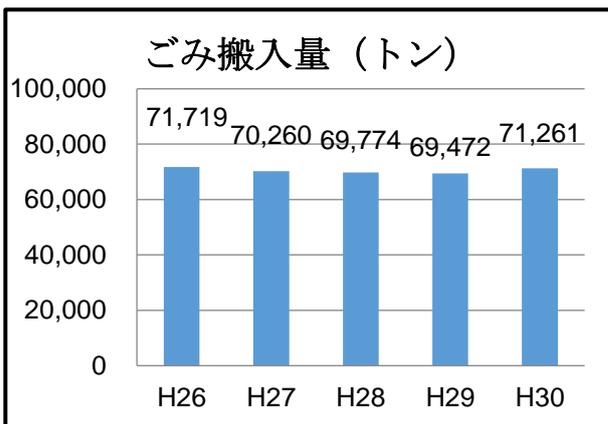
### (1) 平成30年度の物質収支



(2) 平成26年度から30年度までの推移

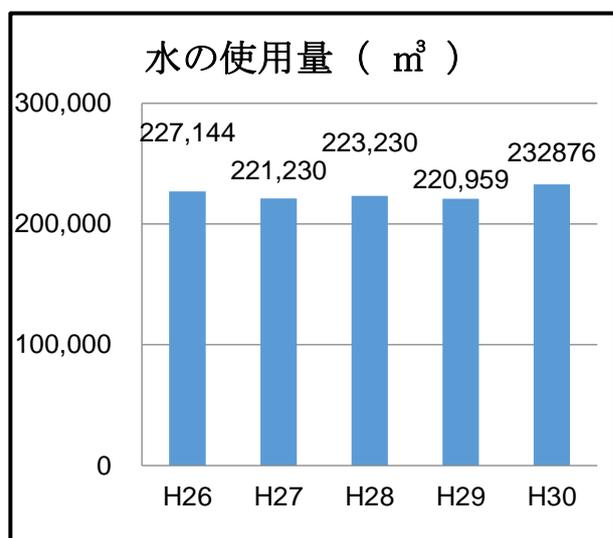
《ごみ搬入量》

近年のごみ搬入量は、ほぼ横ばいですが、ここ数年は減少しています。平成30年度の組織市3市のごみ搬入量は、71,261トンでした。



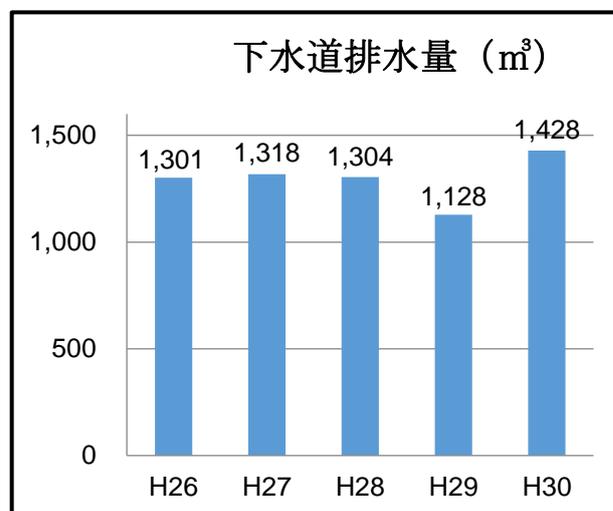
《水の使用量》

主に地下水を排ガスの冷却等に利用しています。一度使用した水も、廃水処理施設で処理をして、再利用しています。



《下水道排水量》

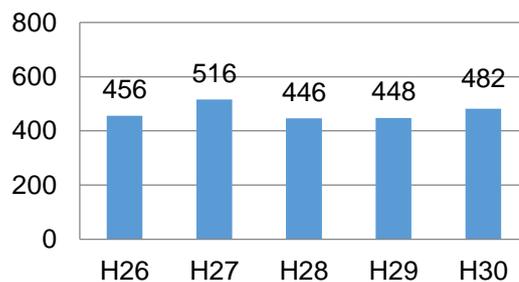
使用した水は、廃水処理施設で処理をして再利用しています。再利用できない分は、公共下水道に排水しています。



《薬剂購入量（消石灰）》

消石灰は、排ガス中の塩化水素ガス等、酸性ガスの中和に使用しています。

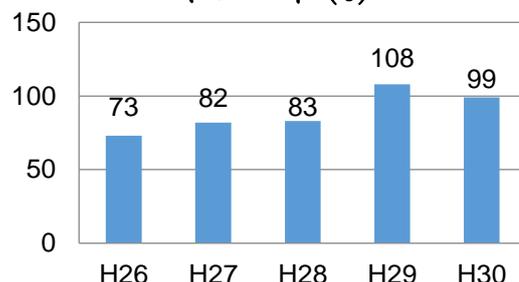
消石灰（t）



《薬剂購入量（キレート剂）》

キレート剂は、焼却灰に含まれている重金属の溶出を抑制するために使用しています。

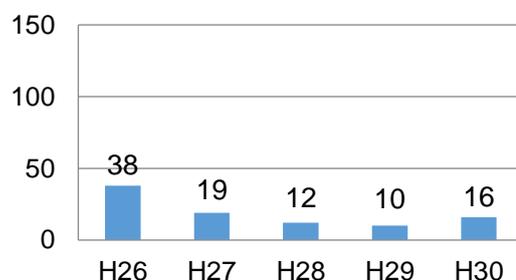
キレート (t)



《薬剂購入量（尿素）》

尿素は、4・5号炉排ガス中の窒素酸化物濃度を低減するために使用しています。

尿素 (t)

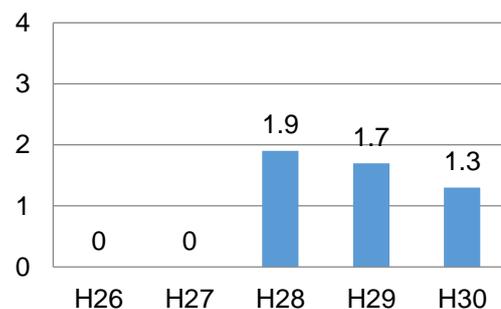


《薬剂購入量（苛性ソーダ）》

苛性ソーダは、廃水処理施設の処理水の中和や、粗大ごみ処理施設の脱臭装置に使用しています。

平成26年度及び平成27年度は、在庫を使用しています。

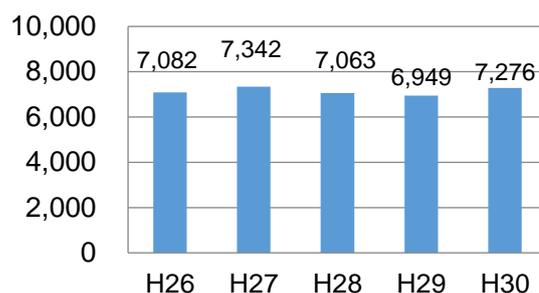
苛性ソーダ（t）



《電力使用量》

送風機やポンプ、コンベアなど、  
ごみ処理施設の動力に電気が使  
われています。

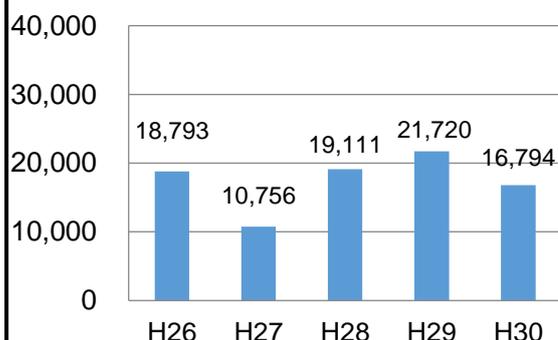
電力使用量(MW h)



《都市ガス使用量》

ごみ焼却炉の助燃（立ち上げ時  
と立ち下げ時）に使用します。  
ごみは、燃えはじめるとその熱  
で燃え続けるので、ごみの焼却  
そのものには使用していません。

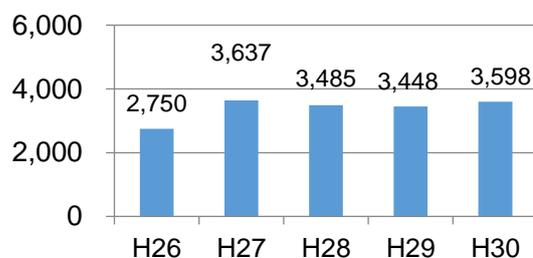
都市ガス使用量(m<sup>3</sup>)



《温室効果ガス排出量(間接排出分)》

電気・都市ガス・水道等の使用に  
伴う温室効果ガスをCO<sub>2</sub>排出量  
に換算した値です。

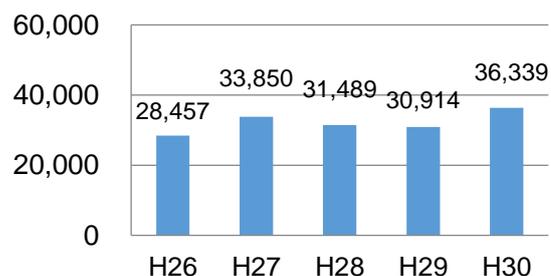
CO<sub>2</sub>排出量 (t CO<sub>2</sub>)



《温室効果ガス排出量(直接排出分)》

一般廃棄物の焼却や、灰を運搬する  
トラック等の自動車から発生する  
温室効果ガスをCO<sub>2</sub>排出量に換算  
した値です。

CO<sub>2</sub>排出量 (t CO<sub>2</sub>)



平成 27 年度の数値に誤りがあったため、上記のとおり訂正させていただきます。

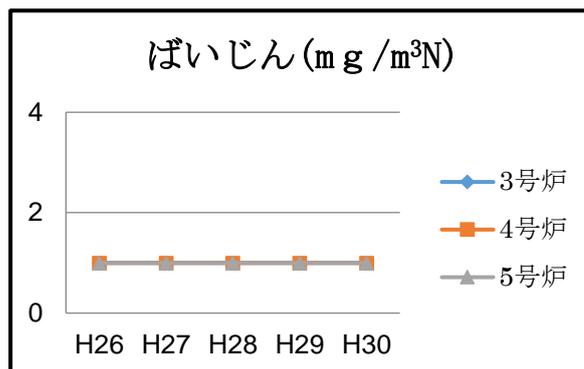
### 3 環境対策

#### (1) 排ガス

##### 《ばいじん》

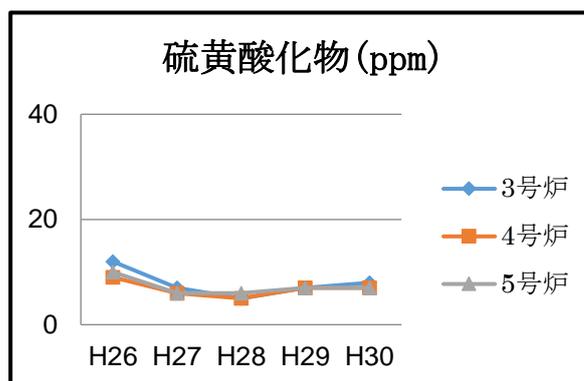
ごみ焼却時に発生するばいじんは、ろ過式集じん器（バグフィルター）で除去しています。

※法規制値… 80 mg/m<sup>3</sup>N



##### 《硫黄酸化物 (SO<sub>x</sub>)》

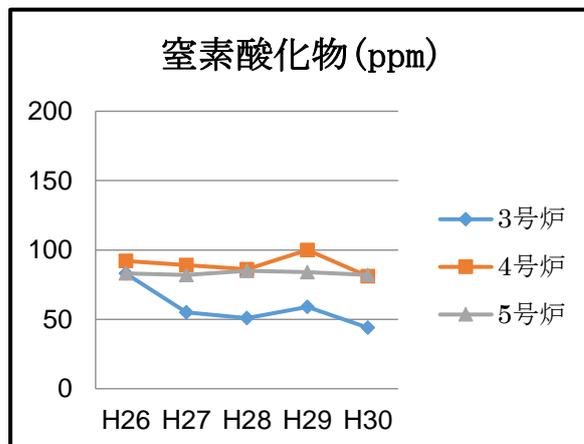
ごみに含まれている硫黄分は、焼却により硫黄酸化物になります。硫黄酸化物は、消石灰と反応させて、低減しています。



##### 《窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)》

燃焼過程で空気中の窒素と酸素が反応し、窒素酸化物が生成されます。また、ごみの中の窒素も燃焼過程で窒素酸化物となります。窒素酸化物は、尿素吹込みや燃焼温度を管理することで、低減しています。

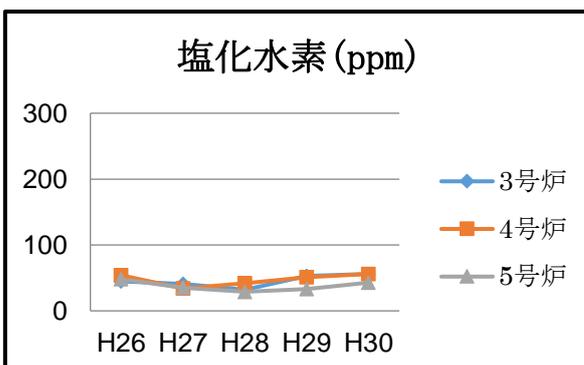
※法規制値… 250 ppm



##### 《塩化水素 (HCl)》

ごみに含まれる塩化ビニールなどが燃えると塩化水素ガスが発生します。塩化水素ガスは、消石灰と反応させて、低減しています。

※法規制値… 430 ppm



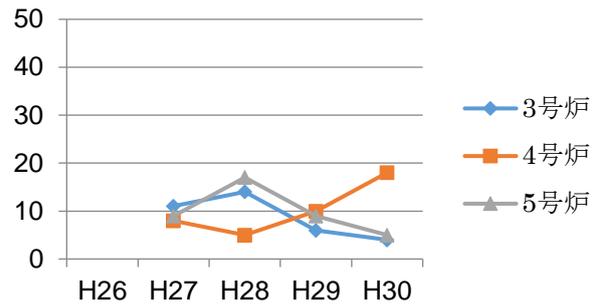
### 《水銀 (Hg)》

水銀が含まれているごみを焼却することで排ガス中に水銀が移行します。移行した水銀は、ろ過式集じん器（バグフィルター）で除去しています。

※法規制値… $50 \mu\text{g}/\text{m}^3\text{N}$

(平成30年度4月1日施行)

### 水銀 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3\text{N}$ )



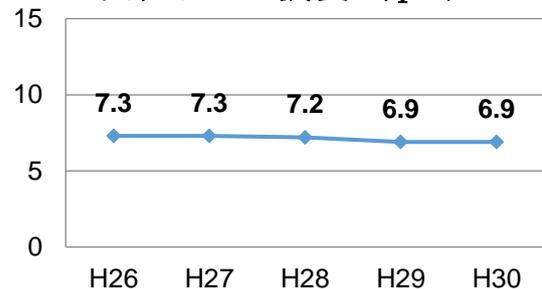
### (2) 排水

### 《水素イオン濃度 (pH)》

水の酸性/アルカリ性を示します。pH7は中性を、これより低い値は酸性、高い値はアルカリ性であることを示します。

※排出基準値…pH 5 ~ pH 9

### 水素イオン濃度 (pH)

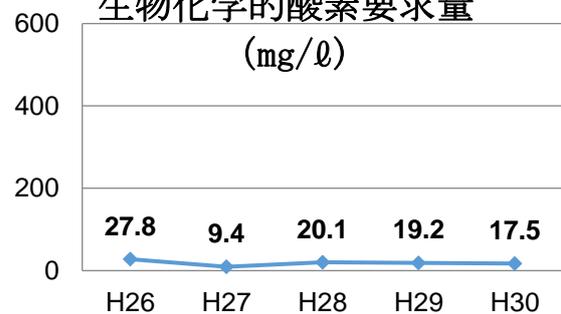


### 《生物化学的酸素要求量 (BOD)》

水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに要した酸素の量。水質が悪いと値は高くなります。

※小平市下水道条例に基づく排出基準値… $600 \text{mg}/\ell$

### 生物化学的酸素要求量 ( $\text{mg}/\ell$ )

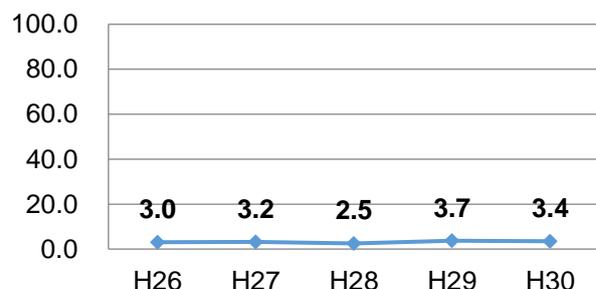


### 《浮遊物質 (SS)》

水中に浮遊している物質の量。水の濁りの目安となります。水質が悪いと値は高くなります。

※小平市下水道条例に基づく排出基準値… $600 \text{mg}/\ell$

### 浮遊物質 ( $\text{mg}/\ell$ )

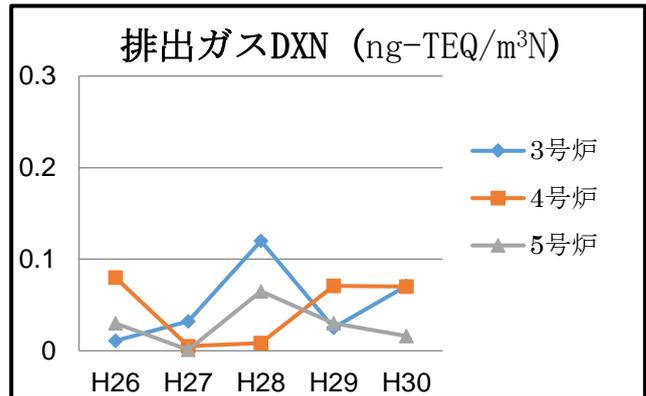


(3) ダイオキシン類

《排出ガス》

燃焼温度を900℃に設定し、ダイオキシン類(DXN)の発生を抑制しています。さらに、ろ過式集じん器で除去しています。

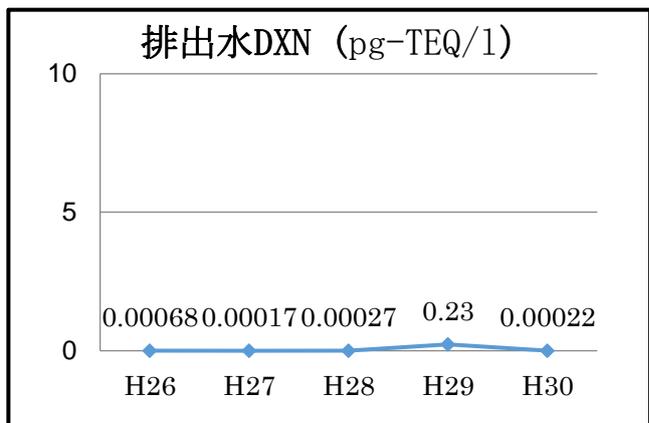
※排出基準値… 1 ng-TEQ/m<sup>3</sup>N



《排出水》

工場排水は、廃水処理施設で処理して再利用しています。再利用できない分を公共下水道に排水しています。

※排出基準値… 10 pg-TEQ/l

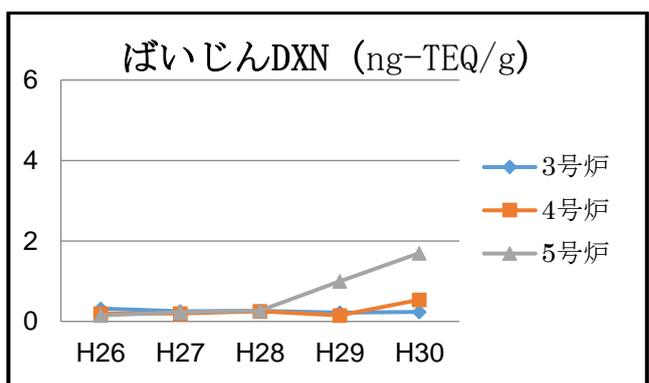
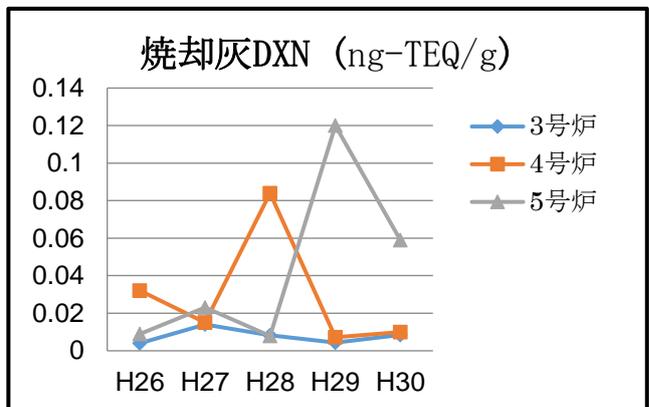


《焼却灰・ばいじん》

燃焼によって生成されたダイオキシン類(DXN)の一部は灰に入ります。灰には焼却炉から排出される「焼却灰」と、ろ過式集じん器から排出される「ばいじん」があります。このうち、「ばいじん」は、薬剤による処理をしてから最終処分場に搬出しています。

※薬剤処理等の判断基準

… 3 ng-TEQ/g

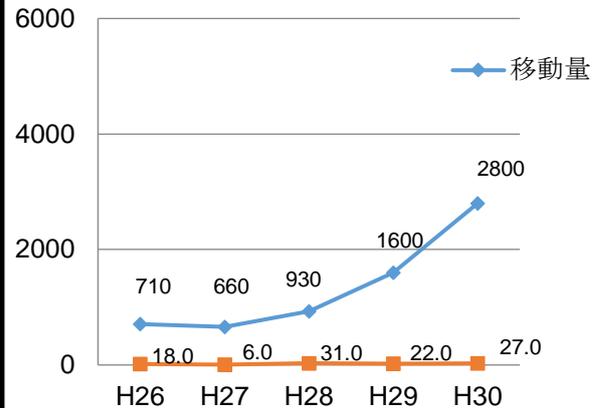


## 《化学物質排出移動量届出制度 (PRTR)》

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」の規定により、ダイオキシン類の大气への排出量や灰に含まれるダイオキシン類の移動量（最終処分場への搬出量）を、東京都へ届け出しています。

PRTRは、前ページ「(3)ダイオキシン類」の各データをもとに算出しています。

## PRTR (対象物質：ダイオキシン類) (mg-TEQ/年)



## ダイオキシン類発生抑制対策

ダイオキシン類の発生を抑制するためには、3Tが重要とされています。具体的には、800℃以上の高温(Temperature)での燃焼、燃焼ガスの滞留時間(Time)の確保及びガスのかく拌(Turbulence)を行い、ごみをより完全に燃焼することです。

### 衛生組合における対策

- ①燃焼状態を一定に保つため、ごみピット内でごみの攪拌をたえず行い、ごみ質を均一にしています。
- ②燃焼ガスの滞留時間(Time)を長くするため、焼却炉の容積を大きくする改造をしています。
- ③燃焼管理温度を900℃に設定し、高温燃焼(Temperature)させています。
- ④燃焼ガスを攪拌(Turbulence)し、排ガス中のCO(一酸化炭素)濃度を10ppm(1時間平均値)以下に保ち、完全燃焼に心掛けています。
- ⑤集じん器入口の排ガス温度を200℃以下に保ち、ダイオキシン類の再合成を抑制しています。
- ⑥集じん器として、ろ過式集じん器(バグフィルタ)を設置しています。

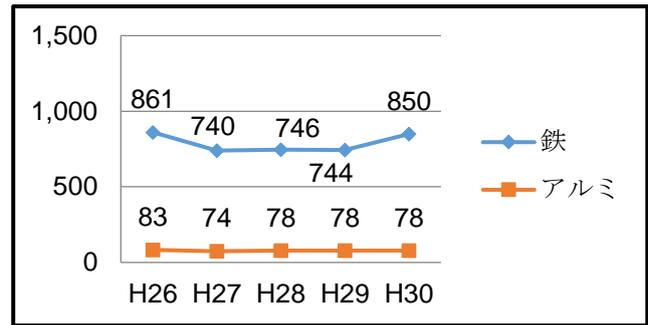
上記のほか、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定められている焼却施設の構造基準・維持管理基準に基づき、適正に維持管理を行っています。

#### 4 資源物の回収

資源の有効活用や最終処分場の延命化のため、搬入されたごみの中から資源物を回収しています。(単位：t)

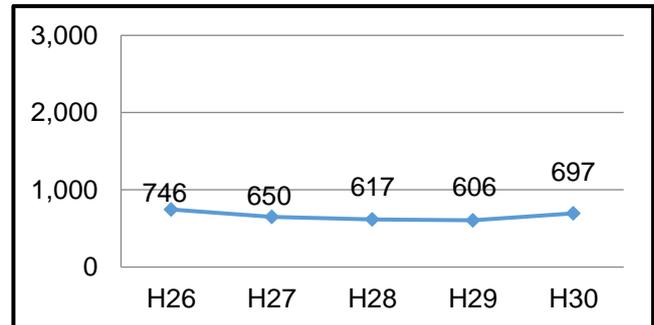
- (1) 粗大・不燃ごみからの  
鉄くず・アルミくず回収

粗大・不燃ごみを破碎処理後、選別機で鉄くずとアルミくずを回収しています。



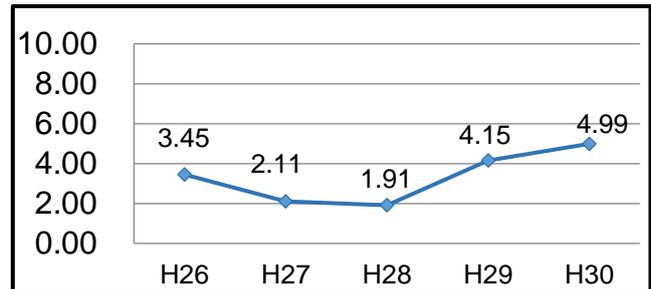
- (2) 焼却灰からの鉄くず回収

焼却灰の中に混入している鉄くずを、選別機と手作業で回収しています。



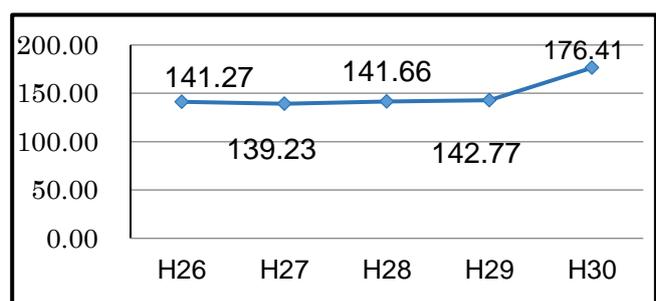
- (3) 焼却炉からのアルミくず回収

焼却炉内で溶けたアルミくずを回収しています。  
(アルミ流れ)



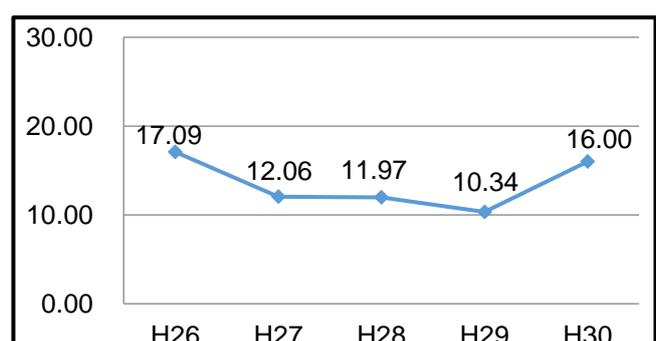
- (4) 粗大ごみからの小型家電回収

平成26年度から粗大ごみの中から、小型家電リサイクルの対象品を手作業で回収し、金属資源として再生しています。



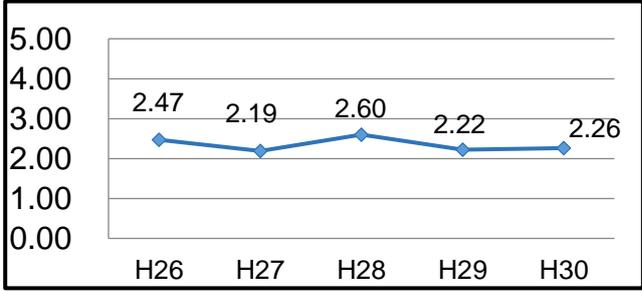
- (5) 廃金属有価物のリユース

そのまま再利用できる家電・器具類を手作業で回収し、リユースを図っています。



(6) 可燃ごみからの古紙回収

搬入された可燃ごみから、古紙を手作業で回収しています。



5 焼却熱の有効利用（こもれびの足湯）

衛生組合では、ごみ焼却炉の余熱で温めた地下水を利用する足湯施設（「こもれびの足湯」）を設置しています。

「こもれびの足湯」は、平成17年3月に周辺住民で構成される連絡協議会から設置の要望が出され、「衛生組合事業への理解」と「地域コミュニティの活性化」を図ることを目的として、平成19年4月に開設いたしました。

開場以来、地域の皆さんに愛され、玉川上水や野火止用水緑道のウォーキングを楽しんでいる方や遠方からお越しの方にも多くのご利用をいただいています。

○施設概要

所在地	小平市中島町3番5号	敷地面積	1,139.87㎡
主な施設	足湯3か所・手湯2か所・足つぼコース 男女トイレ・だれでもトイレ・更衣室・管理棟		

○利用料…無料

○利用時間…3月から9月 午前9時30分から午後4時30分  
10月から2月 午前9時30分から午後4時

○休みの日…毎週木曜日（祝日の場合、翌日） 12月29日～1月3日  
焼却施設の点検日



## 6 焼却灰の有効利用

衛生組合でごみを焼却処理した後の灰（焼却灰）は、日の出町にある東京たま広域資源循環組合の二ツ塚廃棄物広域処分場内に搬入しています。

この東京たま広域資源循環組合では、多摩地域のリサイクルの推進や最終処分場の有効活用等を目的とした、エコセメント化事業が進められています。

エコセメント化事業は、多摩地域から搬入される焼却灰を原料として、土木建築資材のエコセメントを製造するものです。当衛生組合の焼却灰もエコセメントの原料として再利用されています。

破碎・選別処理した後の不燃物は、民間事業者に運ばれて資源化されています。



エコセメントで作られた椅子（エコタロー）



こもれびの足湯の縁石等にもエコセメントを使用

## 7 環境負荷を減らす取組

### （1）地球温暖化防止のための取組

- ①衛生組合保有の庁用車について、燃費の良い軽自動車を優先して使用するなどによる、二酸化炭素排出量の削減
- ②焼却炉の助燃燃料の都市ガスへの転換による二酸化炭素排出量の削減
- ③機械設備の運転基準の見直しによる電力使用量の削減
- ④省エネルギー機器の導入による電力使用量の削減

### （2）事務室での取組

- ①コピーの利用抑制や両面使用による紙の使用量の抑制
- ②冷暖房温度の適正管理や照明の不要時の消灯による電力使用量の削減

## 8 環境活動

環境負荷の継続的軽減に関する知識や技術を習得するために、各種研修機関での研修や専門機関の講習会の受講、先進施設の視察を実施しています。

また、火災などの緊急事態に対処するための訓練を、定期的実施しています。

(1) 研修及び視察等

研修や講習を受けた専門機関

廃棄物処理施設技術管理協会、三多摩清掃施設協議会、日本環境衛生センター、東京都環境局、東京二十三区清掃一部事務組合 ほか

(2) 緊急事態対応訓練項目

- ①火 災……………消火器・放水銃等の操作訓練等
- ②停 電……………自家発電への切り替え、復旧後の安全確認等
- ③薬品等のもれ…作業マニュアルによる安全確保、施設設備への被害防止等
- ④設備の故障……………早期復旧作業の確認、取替え部品の在庫確保等

9 ダイオキシン類についての取組

平成12年11月から、ダイオキシン類対策連絡協議会及びダイオキシン類による健康障害防止対策委員会を設置し、ダイオキシン類対策に取り組んでいます。

なお、平成25年度から上記の協議会と委員会を統合し、ダイオキシン類対策委員会を設置して、引き続き作業従事者のダイオキシン類の暴露防止等に努めています。

## 第3章 コミュニケーション

### 1 環境情報の公開

#### (1) ホームページの開設

平成12年12月にホームページを開設し、情報提供に努めています。

ホームページアドレス <http://www.kmy-eiseikumiai.jp/>

#### (2) 情報公開条例の制定

平成14年4月1日に情報公開条例を施行しました。これにより、情報を求める権利（知る権利）を保護し、情報公開の推進に努めています。

平成30年度の公開実績は、請求が5件あり、対象文書の一部が不存在であったため一部公開でした。

#### (3) 維持管理状況の記録及び閲覧

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第8条の4に基づき、廃棄物処理施設の維持管理状況を記録し、関係者の閲覧に供しています。

#### (4) ごみ処理事業に関する連絡協議会の開催

平成10年10月に、ごみ処理施設周辺の地域住民代表・組織市・衛生組合による「小平・村山・大和衛生組合のごみ処理事業に関する連絡協議会」を設置しました。

衛生組合からは、ごみ処理事業全般・施設の操業状況・環境測定結果・施設整備計画などを報告しています。また地域住民の方々の要望や意見を伺い、相互の理解を深める機会としています。平成30年度は、5回開催しました。

また、ごみ処理事業に対する理解を深め、会員相互の交流を深めるため、他に年1回の施設見学会を行っています。

##### 【ごみ処理事業に関する連絡協議会の構成】

◎地域住民代表…小平市中島町地域10自治会、立川市幸町地域2自治会、東大和市桜が丘地域1管理組合（平成27年12月から）

◎組織市…小平市、東大和市、武蔵村山市の担当課長

◎衛生組合…総務課長、業務課長、計画課長、参事（施設整備）及び参事（施設更新）

#### (5) 資源物中間処理施設運営連絡会の開催

資源物中間処理施設（以下「施設」という。）の運営について、相互の意見交換及び連絡調整を図ることを目的として、「小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設運営連絡会」を平成30年8月に設置しました。

施設周辺の自治会・管理組合の代表者等、及び施設を所管する課の課長で構成され、平成30年度は2回開催しました。

## (6) 電光表示装置の設置

正門横の電光表示装置において、ごみ搬入・焼却に関するデータ等を表示しています。



## (7) 広報紙の発行

組織市の市民の方々に、広報紙「えんとつ」を年に2回配布しています。

また、ごみ処理施設周辺の地域住民の方々には、広報紙「えんとつ（地域版）」も配布しています。



## (8) 地域共生事業の実施

「つなげよう資源の輪、広げよう地域の和」をテーマとした、組合にとっての一大イベント、「えんとつフェスティバル」を地域の皆さんとの共催により、毎年10月第2土曜日に開催しています。

地場産野菜の直売、ごみ収集車展示、地域出演者による演奏、大道芸や模擬店などが行われ、楽しみながら清掃工場を知っていただく1日となっています。



## 2 寄せられたご意見などについて

衛生組合に対する問い合わせ等については、迅速な対応を心がけています。

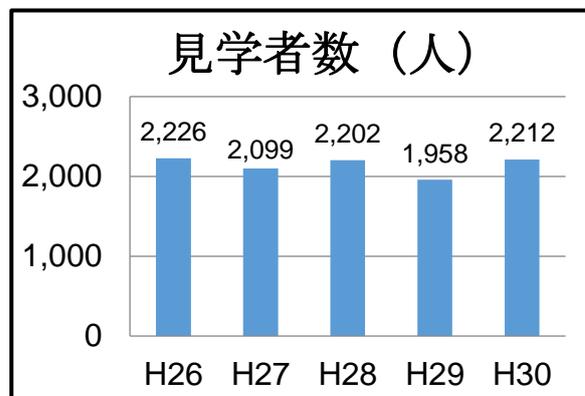
平成30年度においては、ごみ収集車の安全走行、建設中の資源物中間処理施設などに関する問い合わせをいただきました。

### 3 施設の見学

平成30年度の見学者は、2,212人（49団体）でした。  
内訳は、小学生2,007人（26校）、一般205人（23団体）でした。  
見学の内容は、施設の概要説明と場内見学です。所要時間は、約90分です。



小学生の見学



### 4 社会的活動

#### 美化活動

衛生組合は、南側に玉川上水、北側には野火止用水があり、水と緑に囲まれた豊かな自然環境の中に位置しています。

衛生組合では、野火止用水敷の遊歩道等の清掃活動を定期的に行い、環境の維持に努めています。



## 衛生組合のあゆみ

昭和40年	2月	小平・村山・大和衛生組合設立
昭和41年	8月	1号炉しゅん工
昭和46年	5月	2号炉しゅん工
昭和50年	3月	3号ごみ焼却施設しゅん工・廃水処理施設しゅん工
昭和50年	10月	粗大ごみ処理施設しゅん工
昭和61年	11月	4・5号ごみ焼却施設しゅん工
昭和62年	10月	1号炉・2号炉解体
平成2年	11月	3号ごみ焼却施設焼却改造
平成10年	3月	粗大ごみ処理施設改造
平成10年	10月	ごみ処理事業に関する連絡協議会設置
平成10年	12月～平成11年	10月 循環型ごみ処理施設検討懇談会設置
平成13年度～平成18年度		焼却施設部分更新事業
平成19年	3月	余熱利用施設「こもれびの足湯」しゅん工
平成26年	2月～平成29年	11月 3市共同資源物処理施設整備地域連絡協議会設置
平成28年	12月～平成30年	2月 新ごみ焼却施設の整備に係る懇談会設置
平成30年	8月	資源物中間処理施設運営連絡会設置

## みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください

「小平・村山・大和衛生組合 環境報告書2019」をお読みいただきありがとうございました。まだまだ内容が不十分な点も多いかと思えます。

つきましては、みなさまのご意見・ご感想を今後の報告書作成の参考にさせていただきたいと思えます。お手数ですが、本紙をご記入の上、下記までお送りいただきますようお願いいたします。

小平・村山・大和衛生組合 あて

FAX:042-343-5374

1. この報告書は、どのようにしてお知りになりましたか。

2. 報告書をお読みいただいた感想はいかがですか。

(1) わかりやすい (2) 普通 (3) わかりにくい

3. 報告書の内容についての感想はいかがですか。

(1) 充実している (2) 普通 (3) ものたりない

4. 報告書の内容について、お気づきの点がありましたらご記入ください。

5. 衛生組合の環境配慮の取組について、ご感想はいかがですか。

(1) かなり評価できる (2) 評価できる (3) 普通

(4) あまり評価できない (5) 評価できない

6. その他、ご意見・ご感想などありましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。差し支えなければ以下にもご記入ください。

性別	男 ・ 女	年齢	歳	
お名前	ご連絡先電話番号			
お立場	1 近隣の在住者 2 行政関係者 3 企業の環境担当者 4 その他			

## 環境報告書 2019

令和2年2月発行

名称 : 小平・村山・大和衛生組合  
所在地 : 〒187-0033 東京都小平市中島町2番1号  
電話 : 042-341-4345  
FAX : 042-343-5374  
メール : info@kmy-eiseikumiai.jp